

# 京の名所をオペラ座に

あす夜、清水寺で2作品



清水寺でのオペラ公演について説明するボローニャ歌劇場のフランチェスコ・エルナーニ総裁(中央)ら。21日、京都市中京区・京都市役所

平安振興財団、伊の歌劇場など協力

京をオペラの都に。同歌劇場の開館250年に合わせて今年、オペラ座・京都市長は「オペラ座・京都市長は「オペラ座・京都市長は」

日本芸術振興協会(事務局・東京都)や京都平安振興財団などは21日、京都インテルメッツと呼ばれる都の名所旧跡を舞台にする短いオペラ「音楽の先典」と銘打ち、オペラを同制作。文化庁の国際芸術交流支援事業で、すでに毎年行くと発表した。皮切りに世界文化遺産・清水寺(京都市東山区)で、京都公演は、昨年、同日夜、イタリヤのボローニャ歌劇場と同協会が制作したバロック期の2作品を上演する。

観光した際、社寺でのオペラ上演を希望したとい

## 観光誘客へ来年以降も

同協会と京都平安振興財団は、来年以降も京都で継続する意向。門川大光客が増えれば波及効果も大きい」と期待した。清水寺でタクトを振る指揮者の吉田裕史さんは「インテルメッツは能における狂言。シンブルだ

がエッセンスが凝縮された日本の歴史・文化の象徴である清水寺の舞台に合う」と話した。招待や公募の約200人が観劇する。(松本邦子)